

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

<本年度の学力向上基本方針>

- 基礎学力の向上と充実
- さいたま市「アクティブ・ラーニング」型授業の推進
- 家庭学習の習慣化

4月

学力向上目標①

さいたま市学習状況調査において、平均正答率を前年度より1ポイント以上向上させる。

<目標達成に向けた学力向上策>

策1

基礎学力コンテストの実施

開始期日

5月中

具体的な手立て

5教科で、基礎的・基本的な内容のプリントとテストを作成し、年間を通して計画的にテストを実施する。朝読書の代わりに1つの教科の学習を1週間継続して行い、週末の帰りの会の中でテストを実施する。

8月

策2

<全国学力・学習状況調査結果分析後>

各教科における①教科横断的な学習、②ICTの活用、③さいたま市「アクティブ・ラーニング」型授業の3つを取り入れた実践

開始期日

9月

具体的な手立て

①は、他教科の知識技能と関連させた授業を、②は生徒が積極的にICTを活用する授業を、③は「よい授業」を土台とした、「つかむ」、「見通す」、「自力」、「協働」、「練り上げ」、「メタ認知」の課題解決的な学習プロセスを経た授業を、それぞれ行う。全教員がいずれかの実践を行い、成果と課題をまとめていく。

2月

本年度の振り返り

「基礎学力」とは何かについて研究を進めていく中で、「読解力」を土台とした、本校の目指す「基礎学力」の定着と、「基礎学力コンテスト」の取り組みは方向性が異なるとの観点から、第1の策は実施しなかった。代替策である、3つの手法を取り入れた授業実践を通して、基礎学力向上との関連で、それぞれの成果と課題を明確にすることができた。

達成度

50%

3月

次年度の学力向上目標の柱・ポイント

生徒の基礎学力の向上のためには、やはり毎日の授業がとても大切である。来年度は、「ICTの活用」と「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」の2つを柱として日々の授業の中に取り入れていき、生徒の学習意欲を喚起させ、基礎学力の定着を図っていく。

4月 学力向上目標②

さいたま市学習状況調査における「生活習慣等に関する調査」において、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の項目で、「している」、「どちらかといえば、している」の回答をした割合を、3ポイント以上向上させる。

＜目標達成に向けた学力向上策＞

策1

「1Pノート」の活用

開始期日

4月

具体的な手立て

毎日の家庭学習の習慣を身に付けさせるために、「1Pノート」を活用し、その日の授業の内容の復習を中心に、毎日1ページの学習に取り組ませ、チェックを行う。生徒の取組を把握し、また必要に応じて教員からのアドバイスや、表彰を行うことで、生徒の学習意欲の向上を図る。

8月

策2

＜全国学力・学習状況調査結果分析後＞

開始期日

具体的な手立て

2月

本年度の振り返り

1Pノートを新しく、「レPノート」という名称に変更し、授業内容の定着・文章力の向上などを目的とした「2分間レビュー」と、従来の「1P」を組み合わせ実践を行った。2学期に行った学校独自のアンケートにおける「私は授業のために予習・復習に取り組むことができる生徒である。」という質問に対して、肯定的な回答が1年生で80%、2年生で62%、3年生で70%であった。引き続き、家庭学習の定着を図っていく。

達成度

70%

3月

次年度の学力向上目標の柱・ポイント

毎日の帰りの会の中で行う「2分間レビュー」と、「1P」を柱として、生徒の家庭学習の定着を図っていく。その際、生徒の学習意欲を喚起できるように、一人ひとりの頑張りを認め、適切な助言、指導ができるように留意していく。